

令和4年度

---

# 日本大学 学生 FD CHAmmiT 開催報告書

日本大学学生 FD CHAmmiT スタッフ一同



日本大学

日本大学 学生 FD CHAmmit では、10月16日にハイブリット開催(日本大学本部、通信教育部、zoom)で本番を迎えました。今年は「あなたにとって、大学とは何ですか？」を主題とし、大学での学びをより良いものにするために、総勢255人もの方にオンライン、対面でご参加いただきました。今年は去年と異なり、参加者の方も対面参加での開催でより深いしゃべり場にする事が出来ました。皆様本当にありがとうございました。

本報告書は、私たち学生の声を教職員の皆さんと共有することで、日本大学の教育をより良いものにしたいという狙いの下に作成・公開を行っています。学生・教職員双方にとって少しでも参考になれば幸いです。



## ●学生 FD CHAmmiT 開始！

オープニングが行われてから、今年の CHAmmiT が始まりました。

今年は参加スタイルで **3つのグループ**に分けて実施しました。



### ◀対面グループ

模造紙や、Jamboard を用いて大学へ行く理由について、付箋紙に書き出してもらいました。練習を重ねてきたファシリテーション力と、お菓子などの準備もあって、とても話しやすい環境になっていました。

### オンライン&対面グループ▶

Jamboard を用いて意見共有をしました。参加者も多く意見を出して、皆で提案書にまとめました。オンラインで参加されていた方も積極的に参加してくださいました。



### ◀オンライングループ

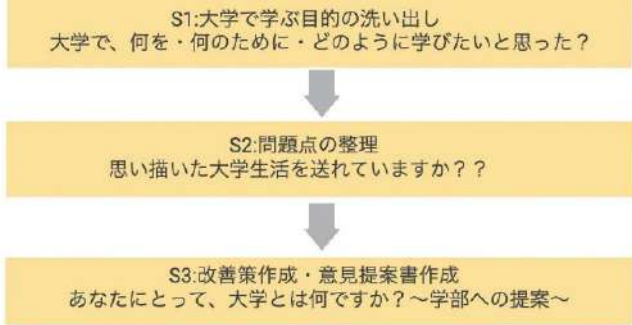
Jamboard を用いて意見交換をしました。対面と比べ、リアクションを大きくすることで、円滑な意思疎通が行えるようにしました。どのグループもセッション3の提案書まで盛り上がっていたと思います。

# ●セッションごとの内容

今年は右図のように  
3つのセッションで  
構成されました。

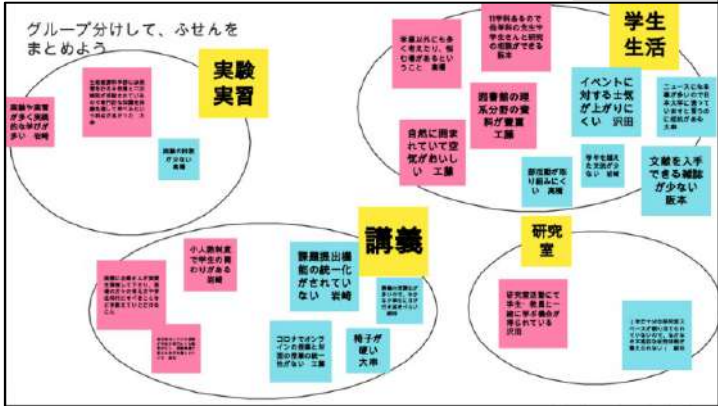
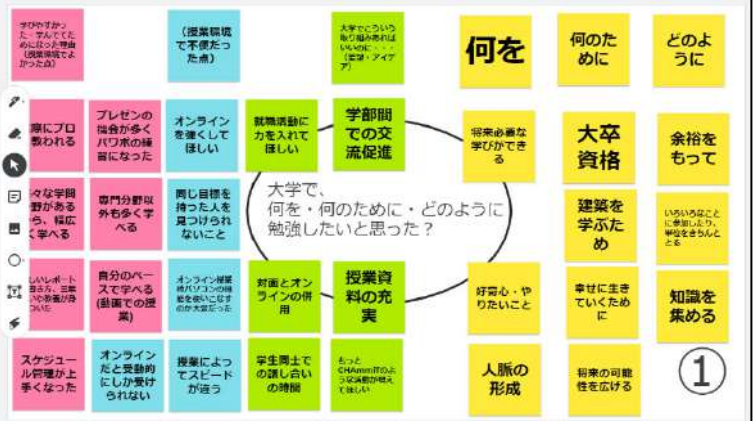
## 本日 (CHAmmiT当日) の流れ

あなたにとって、大学とは何ですか？  
大学での学びをより良いものにするために、改善できるものは何だろうか？



### セッション1:大学で学ぶ目的の洗い出し

大学に求めているものについて模造紙、Jamboard を用いて意見を書き込んでもらい、発表してもらいました。発表内容には学生、教職員両者の大学に対する思いや各学部の特徴、提案が詰まっています。これらはセッション2、3の提案のヒントにしてもらいました。



### セッション2:問題点の整理

学部ごとにグループを組み、「思い描いた大学生活を送れていますか？」というテーマで学生、教職員両者の意見から、それぞれの学部の改善できる問題点を皆さんで考えてもらいました。それぞれ意見を発表してもらい、グルーピングを行いました。

### セッション3:改善策・意見提案書作成

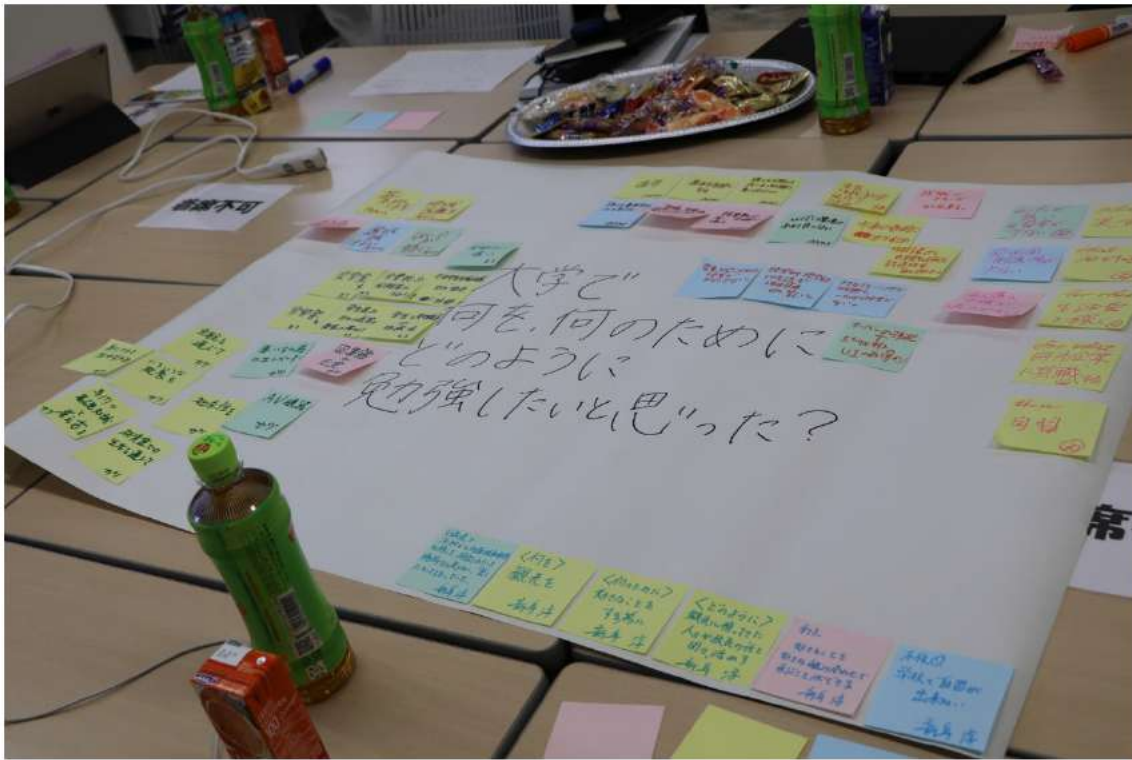
昨年の学部改善報告書を皆と確認して、セッション2でグルーピングした内容から現状の分析を行いました。その後、緊急度、優先度をグループで判断して、優先度の高い順に改善策を話し合いました。「学部に求めること」、「日本大学全体に求めること」の2つに分けて、提案書を作成してもらいました。どのグループも細かく分析できていました。

| 学部提案書 (生物資源科) 学部  |  |  |
|---|--|--|
| ①現状の問題点の分析  | ②学部を「理想の学部」にするための提案  | ③日大を「理想の大学」にするための提案  |
| <b>【講義】</b><br>・ 課題提出の統一化がされていない。課題提出の期日や提出場所、提出方法が分からないことがある。<br>・ 教職員が受け持つ学生数について改善してほしい<br>⇒多いと学生へのフィードバックができないことにつながる<br><b>【実習・実験】</b><br>・ 実験の回数が少ない。<br>⇒天候やコロナ関連で実習や実験が少なくなってしまうこともある。理系学部として学びを充実させるため、その分の学びを大学で経験したい。<br>・ 研究室が足りないように思う | ・ GoogleクラスルームのTODOリストを使用してほしい<br>⇒使用にあたって提出期日とその締め切りは対応させてほしい(今日中に提出しないと期限外になってしまうなど)<br>・ 教職員が受け持つ学生数を調整してほしい(100人まで)<br>⇒学生側から出る意見としてフィードバックがないことがよく受けられる。これは調整者が多いために先生方の対応が難しくなっているのではないかと考える。<br>・ 新幹線などなくなってしまった分の実習や実験は少しでも多くできるようにしてほしい<br>・ コロナ対策による実験室の使用人数の制限を緩和してほしい。(班構成の改善など) | ・ 学生CHAmmiTの継続的な実施によって教職員と学生が意見交換できる場が欲しい<br>・ 総合大学としての強みを生かした交流の場が欲しい。<br>この交流によって多様な価値観や考え方に触れることができ、人脈形成や人生の歩み方が多様化に拓きつけられると考える。<br>EX) 他学部の講義を受けられるイベントを通じた交流など<br>・ 課題提出方法の統一化をしてほしい。具体的にはTODOリストでの提出を基準としてほしい。<br>・ 不祥事に対して具体的な改善策が対応されるようにしてほしい<br>・ 検査の入力が意外と大変で入力している学生が少なく感じる。そのため必要性の有無によって再考していただきたい |
| <b>【学生生活】</b><br>・ 学生生活に関する情報が散らばっている<br>⇒情報を発信するツールが複数あるため発信する教職員側も受け取る学生側もストレスを感じ、重要な情報も拾い損ねる可能性がある。  | ・ 情報ツールの統一化をしてほしい<br>⇒講義に関する連絡はクラスルームやGメールなど。履修登録などのみポータルサイトの使用など。<br>情報の統一化により学部イベントの情報も受け取りやすく、イベント参加の士気が向上し学生同士の交流にもつながると考える  |  |

参加者向けアンケートでは、「非常に楽しめた」、「楽しめた」が87%と、とても満足いただけており、大成功でした。しかし、改善できる点もまだまだ多くあり、これらの意見、提案は来年度へつなげて参ります。尚、今回参加いただいた皆様と作成した「学部提案書」は、FD 推進センター(全学 FD 委員会)で共有し、のちに各学部にて「学部提案書」に基づいて、効果的な教育改善の実現に向け、具体的な検討フェーズに入る予定です。

今年の学生 FD CHAmmit は終わりましたが、これからも我々スタッフは自分が一員であったことを忘れず、日本大学の教育改善のため考え続けていきます。皆様本当にお疲れさまでした！





お読みいただきありがとうございました！

